

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中山道ど真ん中！藪原宿インバウンド誘致事業
事業主体 (連絡先)	木祖村 (木祖村役場産業振興課：0264-36-2001)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2, 113, 870円 (うち支援金：1, 623, 000円)

事業内容

これまで、鳥居峠及び中山道藪原宿は本支援金事業や日本遺産魅力発信事業、景観整備事業などの様々な整備事業を行ってきた。そして、令和2年度に本支援金を活用して、近年増加傾向にあった訪日外国人観光客の受入環境整備のため、村内の文化財サインの多言語化を行った。今年度は、更なる受入環境の整備のため、藪原宿内の名勝地サインの多言語化と多言語ホームページの作成、文化財と名勝地を周遊観光するための日本語版と英語版のパンフレット制作を行った。また、村民やガイドの人たちに文化財と名勝地への理解を深めてもらうため、村民向けツアーとガイド養成ツアーを実施した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①名勝看板の多言語化と英語版パンフレット制作により、インバウンド対応のためのツールを準備することができた。
- ②観光客数が昨年より約 55%増となり、これまで行ってきた事業と合わせて本事業の効果が表れてきた。
- ③観光客の増加により、経済効果も生まれ、昨年の観光消費額より約 43%の増加となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後、訪日外国人観光客がパンフレットや多言語サインを活用できるように、配置場所ごとの傾向調査を行っていき、インバウンド対応に必要な受入環境の整備を進めていく。また、定期的に村民や観光客へのガイドツアーを行い、その様子を SNS や広報で発信して、文化財や名勝地への興味関心を高めていき、更なる誘客と観光消費額の増加を目指す。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ガイド養成ツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ①インバウンド対応
- ②中山道藪原宿、鳥居峠観光客入込数増加
- ③滞在型観光の促進による経済効果の波及

※自己評価【B】

【理由】

当初の予定通りに名勝サインの多言語化と英語版パンフレットを制作できた。また、観光客数と観光消費額も増加した。